



平成 23 年 10 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エー ア イ テ イ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 矢 倉 英 一
(コード番号：9381 東証第二部)
本 社 所 在 地 大 阪 市 中 央 区 本 町 二 丁 目 1 番 6 号
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 波 床 知 喜
電 話 番 号 (06) 6260-3450 (代 表)

**剰余金の配当および配当予想の修正
ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成23年10月4日開催の取締役会において、下記のとおり、平成23年8月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。また平成24年2月期（第25期）期末配当予想ならびに通期の業績予想につきましても下記のとおり修正いたしますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当および配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 23 年 4 月 5 日公表)	前期実績 (平成 23 年 2 月期)
基準日	平成 23 年 8 月 31 日	同左	平成 22 年 8 月 31 日
1 株当たり 配当金	26 円 00 銭	24 円 00 銭	18 円 50 銭
配当金総額	124 百万円	—	87 百万円
効力発生日	平成 23 年 10 月 28 日	—	平成 22 年 10 月 29 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 剰余金の配当の理由

当第2四半期の連結業績は、本日発表しましたとおり、急激な円高にもかかわらず、営業収益、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前回の予想を若干下回るものの、ほぼ予想の範囲内での結果となりました。また、今後の為替動向、仕入運賃の推移、お取引先の動向等を考慮しますと、下期業績見通しにおいても、営業収益については若干下回るものの、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、当初予想した範囲内で、堅調に推移すると見込んでおります。

従いまして、中間配当につきましては、前回予想から2円00銭増額し、1株当たり26円00銭とすることといたしました。

(3) 配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想		24円00銭	48円00銭
今回修正予想		26円00銭	52円00銭
当期実績	26円00銭		
前期（平成23年2月期） 実績	18円50銭	24円00銭	42円50銭

(4) 配当予想の修正の理由

当社は、安定的かつ継続的に、各期の連結業績および配当性向等を考慮しながら適切な利益配分を行っていくことを基本方針とし、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識している中、配当性向30%を目標に掲げておりましたが、今後は一層の企業価値増大の為、配当性向40%を目指していく所存であります。

従いまして、期末配当予想につきましても、前回予想の24円00銭から2円00銭増額し、26円00銭に修正させていただきます。これにより、年間配当金は、1株当り52円00銭となり、前期実績から9円50銭の増配の予定であります。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 平成24年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	16,563	1,145	1,177	720	150 81
今回修正予想（B）	15,065	1,145	1,177	720	150 81
増減額（B－A）	△1,498	0	0	0	
増減率（%）	△9.0	0.0	0.0	0.0	
（ご参考）前期実績 （平成23年2月期）	13,631	983	1,022	580	122 18

(2) 平成24年2月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	13,833	950	985	572	119 80
今回修正予想（B）	12,468	950	985	572	119 80
増減額（B－A）	△1,365	0	0	0	
増減率（%）	△9.9	0.0	0.0	0.0	
（ご参考）前期実績 （平成23年2月期）	11,401	859	903	448	94 48

(3) 修正の理由

通期の連結営業収益の修正につきましては、主に急激な円高に伴う為替相場要因によるものであり、当初想定していた今期の為替レート、1米ドル当り82.0円に対して、実勢レートは76円台まで進行し、下期もこのような状況が継続するものと見込んでおります。一方、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益

につきましては、今後の海上運賃の動向、主力とする海上輸送の取扱貨物量の増加および通関取扱件数の増加等により、粗利益率が当初予定数値より改善すると見込んでおり、これらを勘案した結果、前回発表予想どおりとしております。

また、個別の業績修正につきましても、同様の理由によるものです。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出しております。実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上